

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	179,342	171,936
固定資産	141,968	132,945
① 資産合計	321,310	304,881
流動負債	62,077	59,823
固定負債	24,495	17,906
② 負債合計	86,573	77,730
③ 純資産合計	234,737	227,150
負債純資産合計	321,310	304,881

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
④ 売上高	131,735	144,422
売上総利益	27,821	33,809
販売費及び 一般管理費	24,631	24,032
⑤ 営業利益	3,190	9,776
経常利益	4,299	12,127
税金等調整前 四半期純利益	4,328	12,114
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,966	8,791
四半期包括利益	10,280	23,020

■ ポイント！

① 資産合計

「棚卸資産」や「流動資産その他」の減少などがありましたが、「現金及び預金」や「有形固定資産」の増加などにより、総資産は164億29百万円増加しました。

② 負債合計

「支払手形及び買掛金」や「長期借入金」の増加などにより、負債は88億42百万円増加しました。

③ 純資産合計

円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は75億86百万円増加しました。

④ 売上高

価格改定や円安による押し上げ効果がありましたが、電子・光学関連製品が市場低迷の影響を大きく受けたことに加え、他の製品においても国内や米国において販売数量が減少したことなどにより、売上高は126億86百万円減少しました。

⑤ 営業利益

売上高の減少があったほか、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は65億86百万円減少しました。

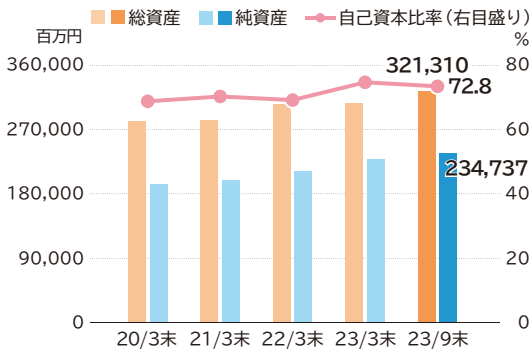
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は68億24百万円減少しました。

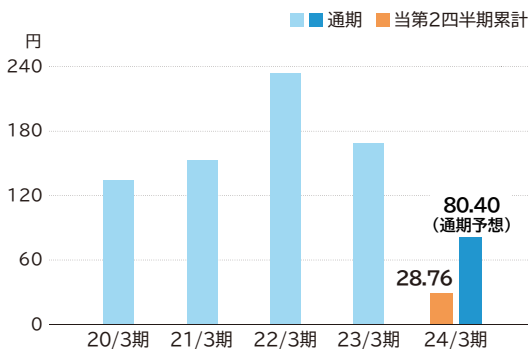
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	16,957	2,924
投資活動による キャッシュ・フロー	△14,159	△5,121
財務活動による キャッシュ・フロー	2,997	△8,482
現金及び現金同等物の 四半期末残高	42,141	43,041

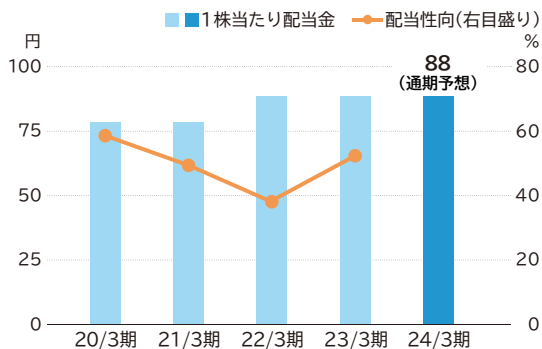
総資産・純資産・自己資本比率



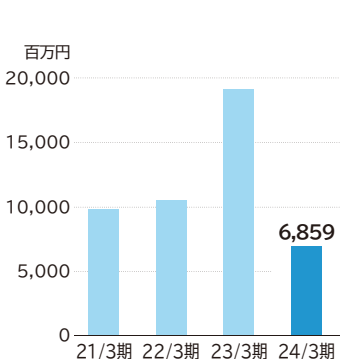
1株当たり四半期(当期)純利益



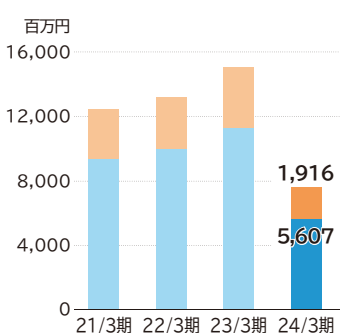
1株当たり配当金・配当性向



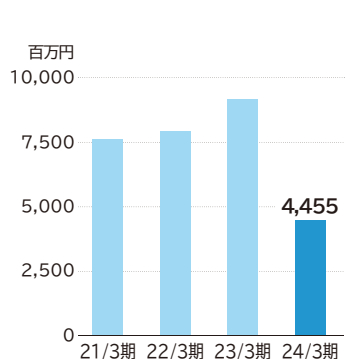
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



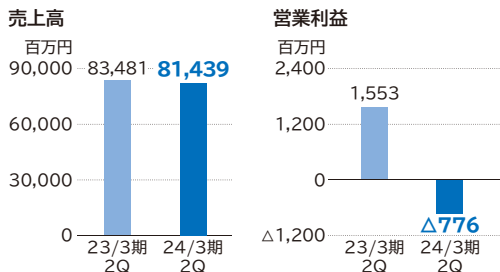
研究開発費



印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **814億39**百万円 (2.4%減)

営業利益 **△7億76**百万円 (-)



印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **640億76**百万円 (5.0%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **173億63**百万円 (8.2%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

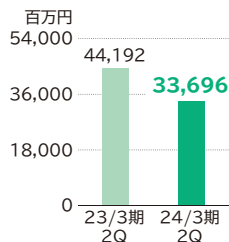
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調だったものの、食品関連において物価高騰による買い控えの影響を受けたほか、飲料キャンペーン用などの需要減少により、販売数量が減少しました。海外では米国や中国において販売数量が大幅に減少しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用粘着製品や建物用ウィンドーフィルム、通販向け装置が堅調に推移しました。海外では米国やインド、アセアン地域において自動車用ウィンドーフィルムや自動車用粘着製品が堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流費が国内において上昇したことに加え、米国での販売数量が大幅に減少したことなどにより、営業損失となりました。

電子・光学関連 (前年同期比)

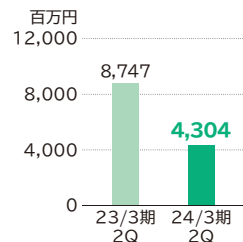
売上高 **336億96**百万円 (23.7%減)

営業利益 **43億4**百万円 (50.8%減)

売上高



営業利益

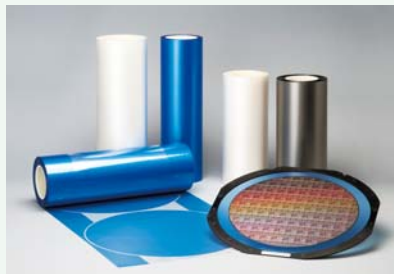


アドバンスマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **267億22**百万円 (20.4%減)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **69億74**百万円 (34.4%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



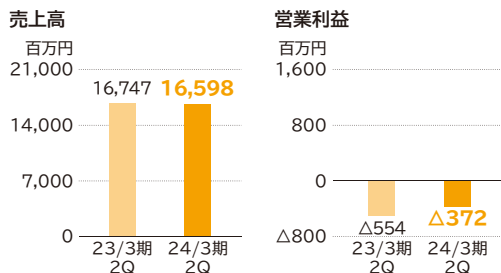
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンスマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、スマートフォンやパソコン用などの需要減少の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン用などの中小型向けともに需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益は受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加したこともあり、前年同期に比べ減少しました。

洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **165億98**百万円 (0.9%減)

営業利益 **△3億72**百万円 (－)



洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **78億94**百万円 (0.5%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **87億4**百万円 (2.1%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門はクリーンペーパーを含む工業用特殊紙が低調だったものの、主力のカラー封筒用紙や学童向けの色画用紙、ファストフード向けの耐油耐水紙は堅調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙の需要が回復したものの、一般粘着製品用剥離紙や合成皮革用工程紙、光学関連製品用剥離フィルムは需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格や物流費の上昇などの影響を受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2023年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,403,837株
単元株式数	100株
株主数	8,462人

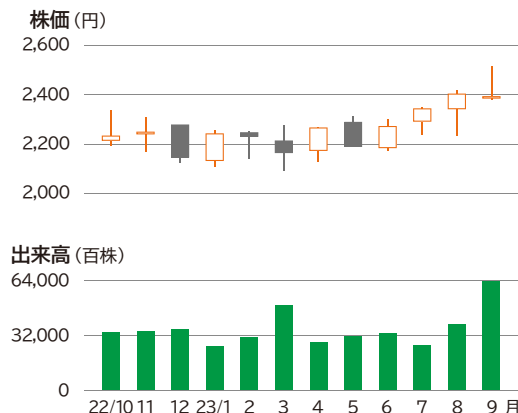
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,206	10.53
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	4,638	6.78
全国共済農業協同組合連合会	1,992	2.91
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,228	1.79
塩飽 恵以子	1,043	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	938	1.37
塩飽 一誉子	803	1.17
庄司 早木子	797	1.16
庄司 光江	797	1.16

注1. 当社は自己株式8,284,903株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2022年10月~2023年9月)



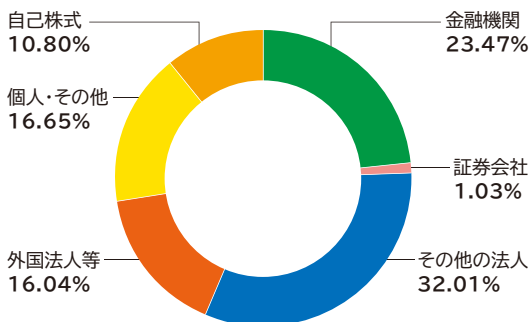
IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

所有者別分布比率



会社概要 (2023年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社設立	東京都板橋区本町23-23 1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,418人 単体: 2,620人 (2023年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2023年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。